

# ノーリフトケアフォーラム 2017 in 東京大学

## ～科学的な根拠をベースに医療や介護におけるノーリフトの伝達方法を考える～

日本ノーリフト協会の活動は、2009年1月日本で初めてオーストラリアの看護や介護の腰痛予防対策ノーリフティングポリシーを紹介した日豪国際フォーラムからスタートしました。2013年2月NHK BS「地球アゴラ」でノーリフト®が紹介された後も、ラジオやテレビ、雑誌取材などマスコミの影響を受け、ノーリフトは日本に広まり始めました。

2015年厚生労働省より腰痛予防対策指針が19年ぶりに改定され「人力による持ち上げを行わせてはいけない。」と管理者へ通達されました。その後、腰痛予防対策だけでなくケアの質にも影響するノーリフトケア®として、NHK「おはよう日本」に新介護技術として取り上げられました。2016年3月一億総活躍の加藤担当大臣がノーリフトケア導入施設を視察くださいました。その後、昨年5月一億総活躍社会の実現に向け、次世代型介護技術としてノーリフティングが記載されました。

しかし、日本で実施されているケアを見ると一時は、新しい方法がブームのように広がり、実施されるのですが、それが点で終わりケアとしての継続がないことも課題だと感じていました。また、職場に帰った際にセミナーなどで学んだことを現場のスタッフに「どのように伝え、継続できるのかが、課題だ。」とセミナー参加者からも意見が聞かれました。

**ケア技術は、**武術や伝統工芸のように人伝えで教えられ、よく見ると人によって方法が違うことや指導者のように上手くできないといった**非科学的な伝承が問題**でした。そのため、ノーリフトケアを普及するにあたり、2013年よりRISTEX 東京大学 浅間一教授プロジェクトにて「ケア提供者の経験価値の見える化を用いた共創的スキル e-ラーニングサービスの研究と実証」をテーマにケア技術と伝達を科学的に分析しました。このプロジェクトを通して、医療や介護職が伝達しているケア技術を科学的に分析した結果、技術を伝達する際の言葉の曖昧さや技術のぼらつきを修正し、日本におけるノーリフト実施に必要なプログラムとしてノーリフトケアコーディネーター養成講座を改定することができました。

今後ますます、腰痛予防対策と拘縮などの予防を含めたケアの質の改善として、ノーリフトケアに取り組もうとする施設が増えることが予測される中、科学的に分析された改定プログラムを紹介し、ノーリフトケアに取り組む目的を共有することにより、地域や働く介護や医療職からも選ばれるノーリフトを取り組みとはどのようなことを指すのか、また、**介護ロボットや福祉用具を活用していかにプロの視点活かした働き方ができるのか**。人財不足や時間に追われているケアの現状をふまえ、今回ノーリフトケアに取り組んでいる法人から、**ノーリフトの教育が腰痛予防対策だけでなくケアの質にも影響を与えた症例取り組み報告**も行います。

これら結果を共有することで各施設や日本各地でのノーリフトケア導入と継続の支援となるよう東京大学にてフォーラムを実施します。そして、今後の国際的な交流を見据えた日本ノーリフト協会活動を紹介します。この機会に現場で使用されている非科学的な・・・主観的な言葉「そ〜とね。優しくね。大切に。」などを使った伝達の方法を改めて考えてみませんか。**ぜひ、フォーラムを通して、どのようすれば相手に伝わるのかを知り、みなさんの職場での伝達に活かしてみませんか。**

## ノーリフトケアフォーラム 2017 in 東京大学

～科学的な根拠をベースに医療や介護における腰痛予防対策の伝え方～

**2017年1月21日（土）13:00～16:45 懇親会 16:45～18:00**

**場所：東京大学 武田先端知ビル ホール**

アクセス [http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_16\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html)

**参加費：会員無料 非会員 5000 円 懇親会：参加者全員 4000 円**

プログラム（予定）

13:00 はじめに

RISTEX 全体のスケジュール報告と本日の内容の紹介 10分 日本ノーリフト協会 代表 保田淳子

13:10 ノーリフトケア取り組み報告

施設・病院でのノーリフトケアの変化と課題（3法人より）

13:40 RISTEX 報告①

技能教育プロジェクト概要の説明：東京大学 教授 浅間 一先生

14:00 RISTEX 報告②

サービス価値共創のためのデータベース：産業技術大学院大学 教授 橋本 洋志先生

経験価値見える化プランと指導者支援の効果検証：東京電機大学 准教授鈴木 聡先生

カメラを用いた動作分析・3次元表示による技能の見える化：東京大学・准教授 山下 淳先生

14:30 休憩 10分

14:40 RISTEX プロジェクトを通して、ノーリフトを伝達する際のアドバイスと会場参加者などとの意見交換

15:15 日本ノーリフト協会活動の今後 司会進行：埜田和史

ノーリフトケア e-learning での支援：S ケア研究所 代表 石黒周氏

ノーリフト高知支部立ち上げにあたり：日本ノーリフト協会 理事 下元佳子

ノーリフトケアコーディネーターの活動とアジア諸国との連携予定：日本ノーリフト協会 理事 保田淳子

15:45 日本ノーリフト協会活動の今後についての意見交換

司会進行：埜田和史

16:30 閉会挨拶

16:45～18:00 懇親会

【申込方法】

①お名前、②所属、③連絡先メール／電話 ④懇親会参加の有無を

メール [noliftcare@gmail.com](mailto:noliftcare@gmail.com) もしくは FAX 078-862-8508 まで お願いします。

参加〆切 2017年1月18日

主催 一般社団法人 日本ノーリフト協会 開催協力：東京大学 教授 浅間一先生、准教授 山下淳先生